

人工知能で英作文ソフト

徳島大などは二十六日、人工知能を応用した英作文支援ソフト「知的英作文支援システム」の商品化に向け、開発に着手したと発表した。人工知能を応用した翻訳ソフトの開発に取り組むのは国内初といい、キーワードや短い文を打ち込むと、候補の例文を日本語で提示して英作文の手助けをするもので、来年三月の商品化を目指す

徳大など開発着手

している。
任福^{びち}継教授の人工知能を応用した研究。従来の翻訳ソフトは、機械的に対応するものを単純に表示するだけだったが、このソフトは膨大な例文のデータベースからユーザーの特徴や統計データ、文章構造の特徴を分析し、最適な例文を提示することが可能と

文章構造を分析、例文提示

来春の商品化目指す

膨大な量になるが、圧縮技術を用い、容量を抑えられたため、パソコンでも利用できる見通し。
当初はビジネス文書などの扱いが多い企業向けの商品予定しており、価格は十万円以内を見込む。販売は、ソフトウエアなどの開発会社「AGI」(本社・東京)。
任教授は「研究、ビジネスの面で英語の重要性は高まるばかり。様々な場面で活用してもらえたい」と話している。